



# 道連ニュース

2012年5月号 No.71

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

## 3時30分からの通常総会後に代議員交流懇親会

～道連第5回理事会で総会運営などを議決しました～

5月10日、第5回理事会が山口理事（コープさっぽろ専務理事）の議事進行で開催されました。

確認された報告事項は①一般活動経過、②年度決算、③監事監査、④役員選定委員会、⑤中札内生協、⑥協賛・後援、⑦北海道他からの通知、⑧地連でした。

議決事項は①地連運営委員等の推薦、②日生協総会代議員、③事業連携プロジェクトの設置、④道連事務局体制、⑤暫定会費、⑥業務規程等の改定、⑦各種会費・役員派遣、⑧ユニセフ指定募金の目標額、⑨CANT署名第2弾への対応、⑩道連総会の運営及び議案でした。そのほか①社会保障と税の一体改革、②IYC、

③原子力エネルギーをめぐる諸問題について審議しました。

6月21日の総会では、昨年の1H運営を継続するも、代議員及びご挨拶もれの友誼団体を交えての交流懇親会が設定されるため午後3時30分からの開始となります。尚、総会での議決事項は、役員の新補充選任や道連活動見直し検討委員会の「中間報告」を受け、「定款・規約」の変更・新設も提起することとなりました。昨年度の反省に基づく新年度計画や取組みへの決意を共有する総会となることが期待されます。

## 2012国際協同組合年記念フォーラムが開催されました

5月22日、国際協同組合年記念フォーラム実行委員会の主催



協同組合の意義を確認したフォーラム

による「記念フォーラム」が札幌市内にて開催され、約120名が参加しました。この実行委員会には、道労福協・道労金・

連合北海道や全労済本部・住宅生協・道医療生協・道生協連、そして北労金労組・労済労連・住宅生協職組・コープさっぽろ労組の11団体で結成されました。

フォーラムは、「労働者自主福祉事業の新たな展開に向けて」をテーマに労働者福祉中央協議会参与の高橋均氏が講演。労働運動と協同組合運動との関係の再構築について話されました。その後のパネルディスカッションでは、講師にコーディネーターを、パネラーには連合北海道の工藤和男会長、労福協・労働金庫の高柳薫理事長、道生協連の前川和広専務、労金労組の勝田聡委員長ら4方で、各団体の現状と今後の取り組みなど、協同組合に向けた活発な交流が行われました。

## 道連第56回通常総会及び交流懇親会のご案内

当連合会の第56回通常総会及び交流懇親会を下記の要領にて開催致しますのでご案内申し上げます。

記

□日時 2012年6月21日（木）

①通常総会

午後3時30分～4時30分 4階「シンフォニー」

②交流懇親会

午後4時30分～6時 4階「しゃくなげ」

□場所 ホテルポールスター札幌

札幌市中央区北4条西6丁目（TEL 011-241-9111）

□議題

第1号議案

第2号議案

第3号議案

第4号議案

第5号議案

第6号議案

第7号議案

第8号議案

2011年度活動報告承認の件

2011年度事業報告書及び決算関係書類

承認の件

監査報告

2012年度活動計画及び予算決定の件

役員報酬決定の件

役員の新補充選任の件

定款一部改定の件

規約一部改定及び新設の件

議案決議効力発生の際

## ●コープさっぽろ●

# 札幌エルプラザ「内部被曝と健康被害」講演会を開催しました

5月9日札幌駅北口エルプラザにおいて、北海道がんセンター院長の西尾正道先生による「内部被曝と健康被害」の講演会を開催し、内部被曝の危険と健康に与える影響について学習しました。

本年2月コープさっぽろ北12条店にて開催の「チエルノブイリハート」上映会以来2回目の開催ですが、がれき処理問題にも、おおいに参考になりました。

来場者は114名、アンケート回収は57枚でした。次回開催テーマの要望については、①食品の放射能汚染、②代替（自然）エネルギー、③脱原発などが多く出されました。



講演をする西尾正道先生（北海道がんセンター院長）114名が参加

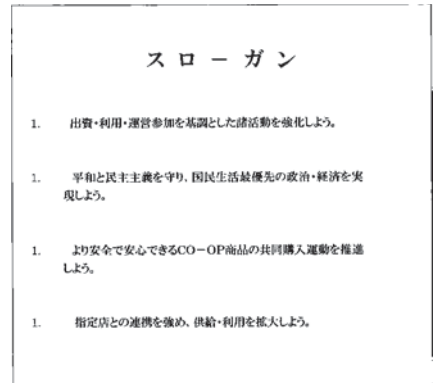
## 上川地区学校生協

# 第63期通常総代会が開催されました

4月24日、16時から上川教育会館にて、第63期通常総代会が開催されました。総代数100名のうち総代84名（内、書面議決書73名）の出席があり、三村副理事長により開会宣言が行われ、大谷理事長の開会挨拶の後、議事に入りました。

富田専務理事より第1号議案2011年度経過報告及び事業報告ならびに決算報告について、一括報告があり、代表監事より全て正確適正であることを認めた旨の報告がありました。報告事項に対し質疑・意見は無かったので、引き続き議事に入りました。第2号議案・第3号議案・第4号議案・第5号議案について富田専務理事より一括提案があり、質疑・意見を求めたが無く、各議案ともに全会一致で原案通り承認されました。第

6号議案も満場一致で承認されました。その後スローガンを採択し、議事の全てを終了し閉会しました。上川学校生協の現状は、とても厳しい経営状況が続いており、2011年度はなんとか赤字決算にならなかった、という状況でした。



全議案の承認後、採択されたスローガンです

## 酪農学園生協

# 学生が主体の「総代会」運営にしました

他の大学は、学生委員会が中心となって総代会を作り上げているようですが、酪農学園生協は、専務と職員が主体となって総代会を運営し、その手伝いとして学生委員会があるような構造でした。昨年、初めて総代会を経験して、そのことが分かり今年度の総代会から学生委員会に任せて行いました。

学生総代を集うことは以前から学生の仕事として定着していましたが、教職員の総代を集うことや会場設営、受付、議長と多岐にわ



5月19日、学生委員会の運営により開催された総代会

たり学生が中心となって運営。また総代会第二部と銘打って学生総代と交流して、意見や要望を伺いながらどのように反映していくかを各店長も参加して行い、組合員活動に生かす取り組みも行いました。学生総代については、日常の供給活動にも参加していただくため「総代集会」を年2～3回の予定で開催、商品についてはイベントの立案、共済は勉強会などを、話し合う場を設け生かしていこうと取り組みを始めています。



組合員に快適な学生生活を送ってもらうために、学生目線から作り上げることをテーマに総代会から年間を通した活動に育てようと考えています。